

「地方創生人材教育プログラム」と「地方大学が輩出すべき人材の地元就職」の因果関係とは？

～今後のプログラム構築に関する論点、因果モデル構築に向けた検証ポイントの明示～

ファシリテーター



信州大学
特任教授

山本美樹夫



山梨県立大学
准教授

杉山歩



岡山県立大学
教授

末岡浩治



徳島大学
教授

山中英生



信州大学
教授

林 靖人

テーマ

人材育成が
人材輩出へ

グラフィックデザイナー

イラストレーター

©2022 @vpkaerun



COC+R 総括コーディネーター

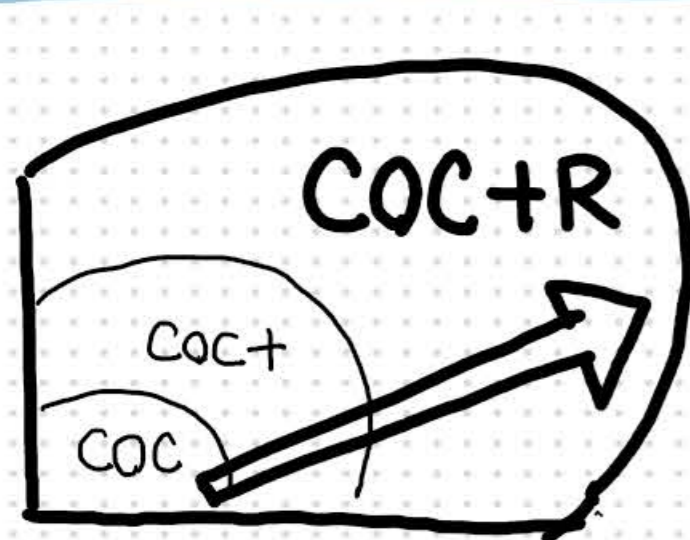
信州大学
特任教授

矢野俊介



第1部では土台として
「地方大学の役割」

ニュー資本主義、ローカル ESG



暗黙知 ⇨ 形式知

骨太の方針
がびきくる

お互いの気づきが高まる

『因果モデル』

$$y = ax + b$$

- WS① 地域を深く知る
- WS② プロジェクトで人と繋がりが専門
- WS③ 無秩序を編集する人材
- WS④ 地域の採集をイメージしぬを描ける力

公開しておきたいのに!

これらの観点で
整理している

- ① 企業因子
- ② 大学因子
- ③ 学生因子

認知度

鬼未力

大分類

中分類

要件

COC+Rプログラムの紹介

横濱大学 山中 雅



質の高い人材
企業等の魅力向上

学生と企業の
深い関係性が重要

COC+
から参加
します

岡山県立大学
末岡 先生



教育改革

産学連携

域学連携

地域創生推進士

「吉備の杜」創造戦略プロジェクト



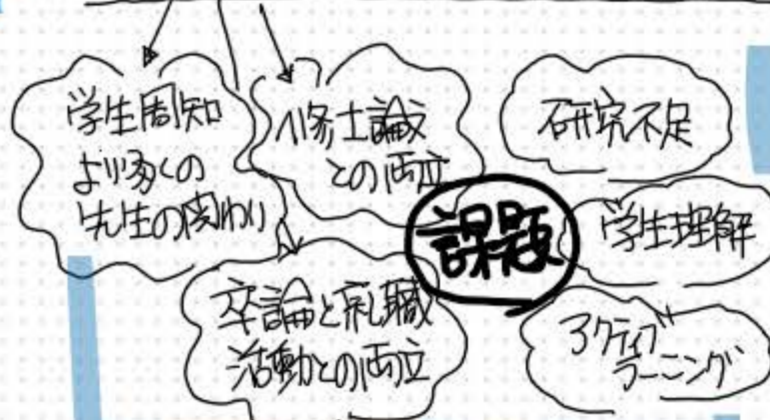
実践型PBL演習



学外者(社会人等)向けオンライン動画



サテライトPBL/クロスセグメン



地元就職率

学生の可能性
拡大のチャンス

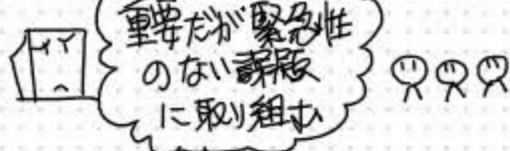
↓ 地元に残りたい学生に重点を置く

1. インタビュ



経営者との対話
会社見学

2. 実践型インターン

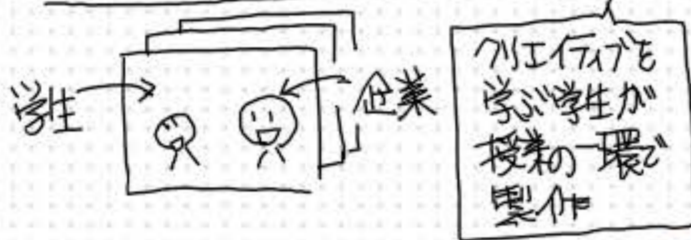


3. キャリヤサポートシステム



学生と企業風土等がマッチング
競合価値観の相違

4. 企業の魅力伝えるセミナー制作



山梨県立大学
大川 先生



COC
から参加
VUCA時代に
対応

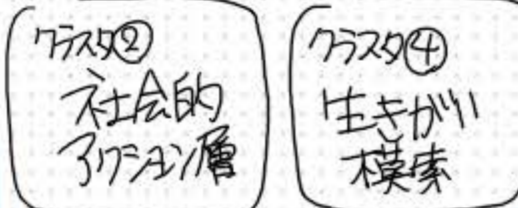
価値創造人材
を輩出していく

5分野(政策)

VUCA時代のキャリア教育

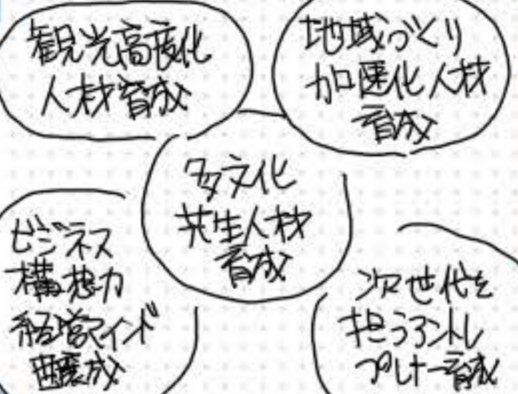
プログラム以外の証は
学外の機関が発行

ニーズ調査で5つに分類



社会人に3プロ-4

R4年度は 5プログラム開設



Pentas

人・財の
好循環を
生み出す
ENGINE



信州大学 勝木

シナジー
を築く

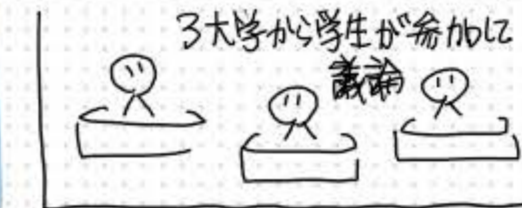
3大学が連携に考えよう

1. トップ4-9
2. にとく
3. インタビュ



各大学で連携・協調に促める

オンラインで各大学を接続
できる様になった



2. にとく

満足度も向上



学生が企画・運営

「知る」の次は「繋ぐ」が課題

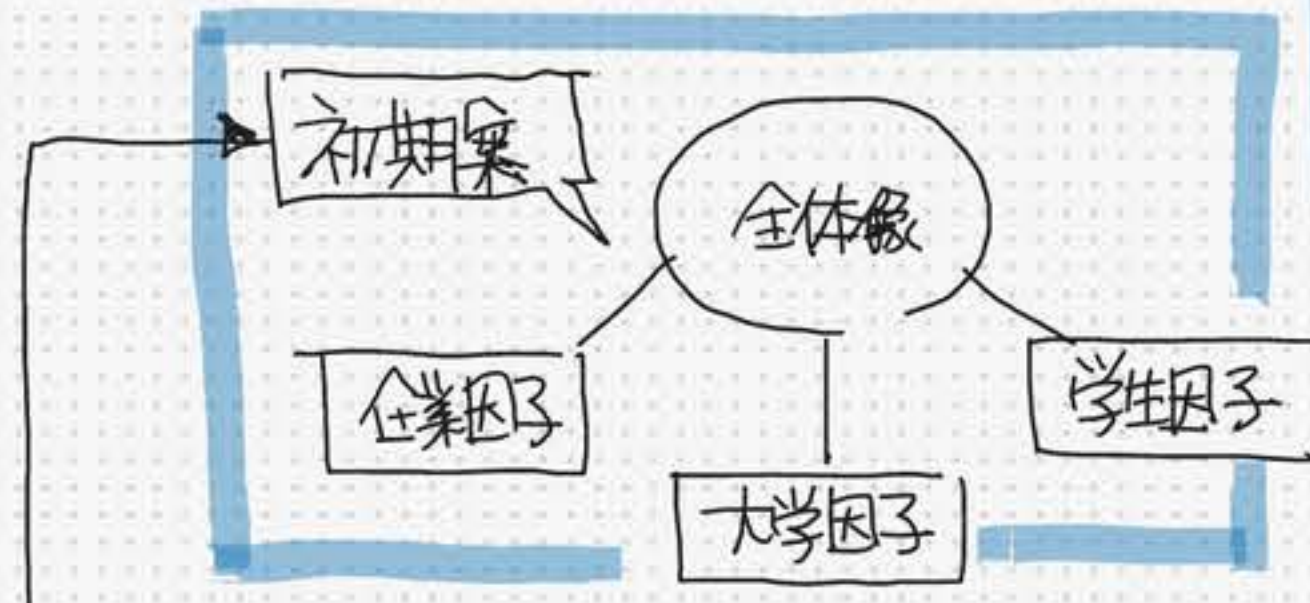
3. 「ENGINEイニシアツブ」のポータルサイトのプログラム

映像を用いて
より深く企業を
理解していく → 評価軸



グラフィックデザイン
実務人カエルン
©2022 @vpkaerun

因果モデルのディスカッション



信州大学 西村 隆之丞

「因子はたいてい個別に独立している」として考えている

ENGINE プログラム などが インパクト

Y: 就職率が上がるのける年後

「大ごと〜く」を例に



自己到達点の確認「ルーブリック」

可視化による当事者意識

能力向上

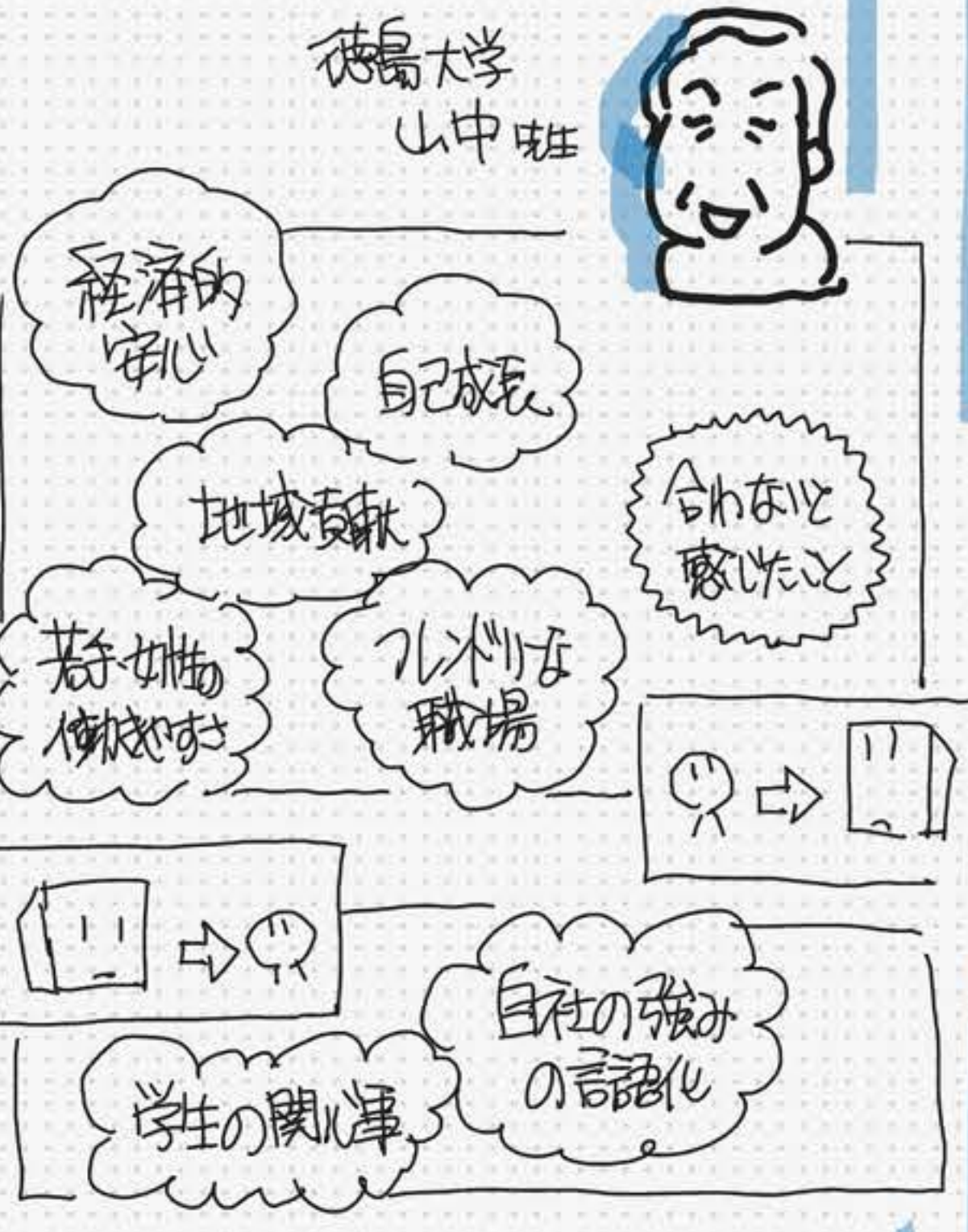
企業を知る

自身の成長に気づく

今後

KPI化. 数値を出しにく

企業因子

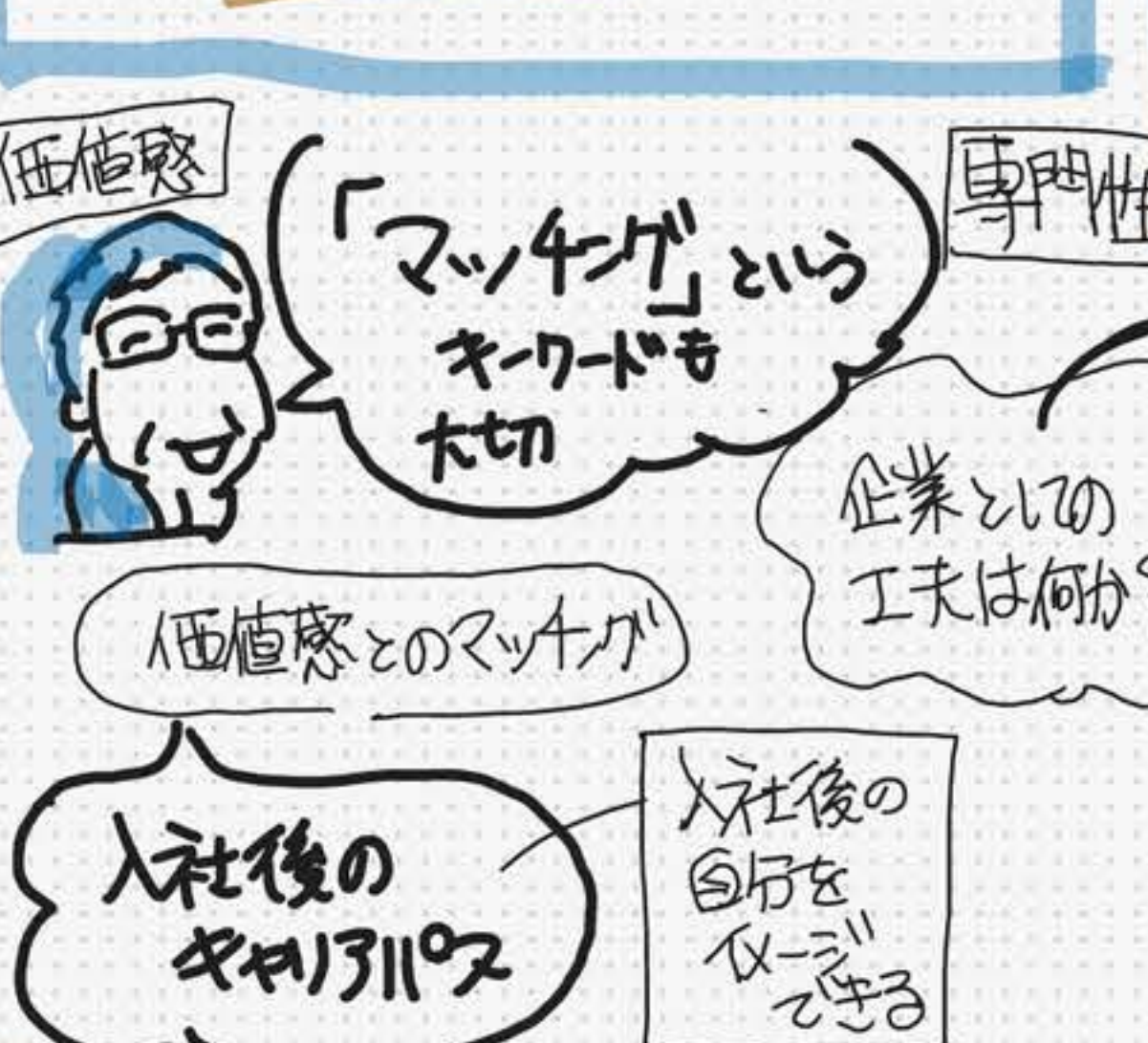


企業の魅力はどこで表れているか?

$$Z_i = f(\text{Std-value}, \text{Std-edu}, \text{Co-info}, \text{Co-value}, \text{Co-com}, \epsilon)$$

学生の地元定着率は

関係性 で深まってくる



「コラボラティブな テーマである学生は」

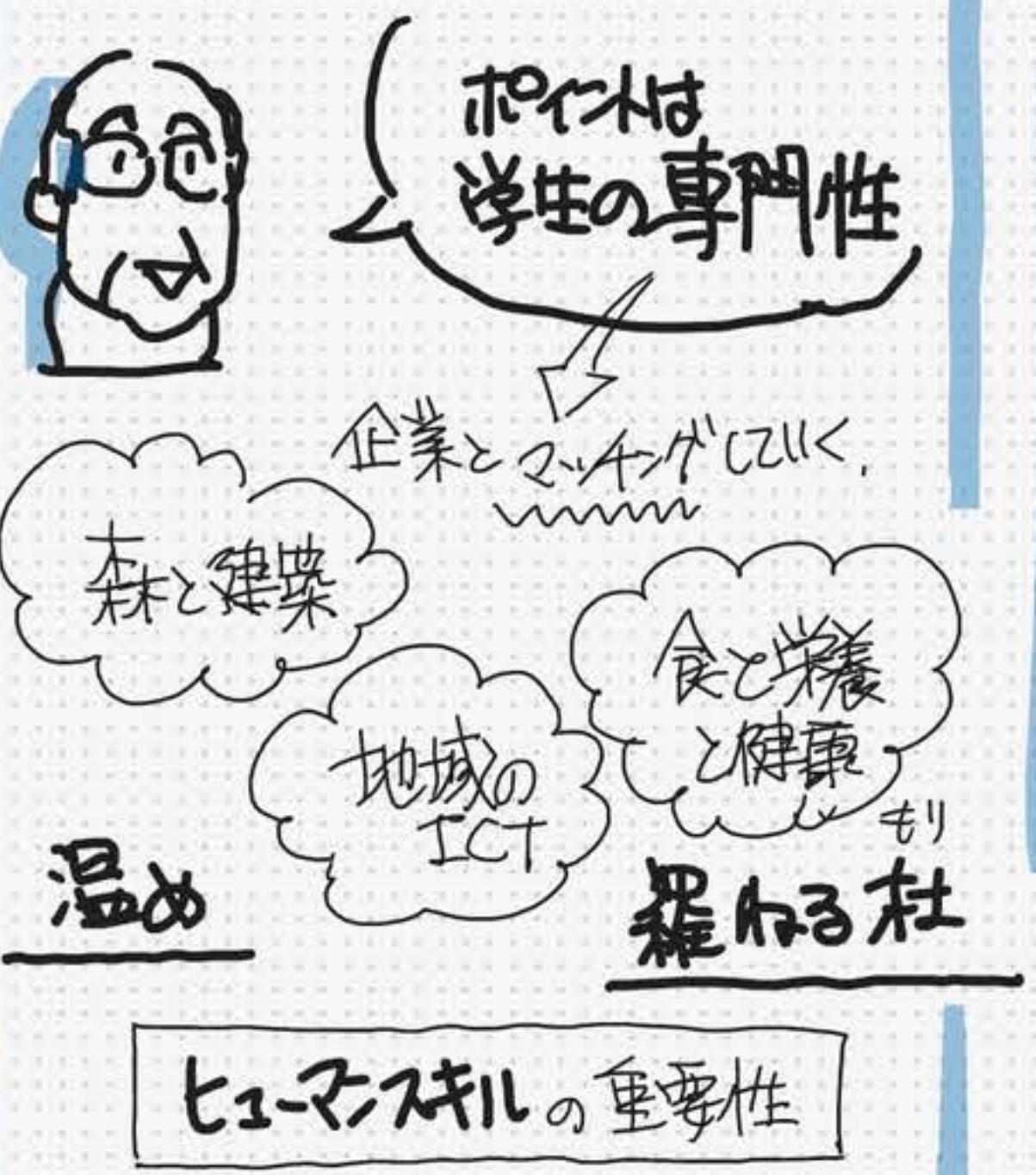
A. まちごとが中心

ビジネスモデルを作る

そんなに難くないという気持ち

Q. リカレントは?

大学因子



ヒューマンスキルの重要性

COCTR ⇒ 出口との一体性

地域志向

幅広い関心

高い専門性

学生

大学には与えられない知識

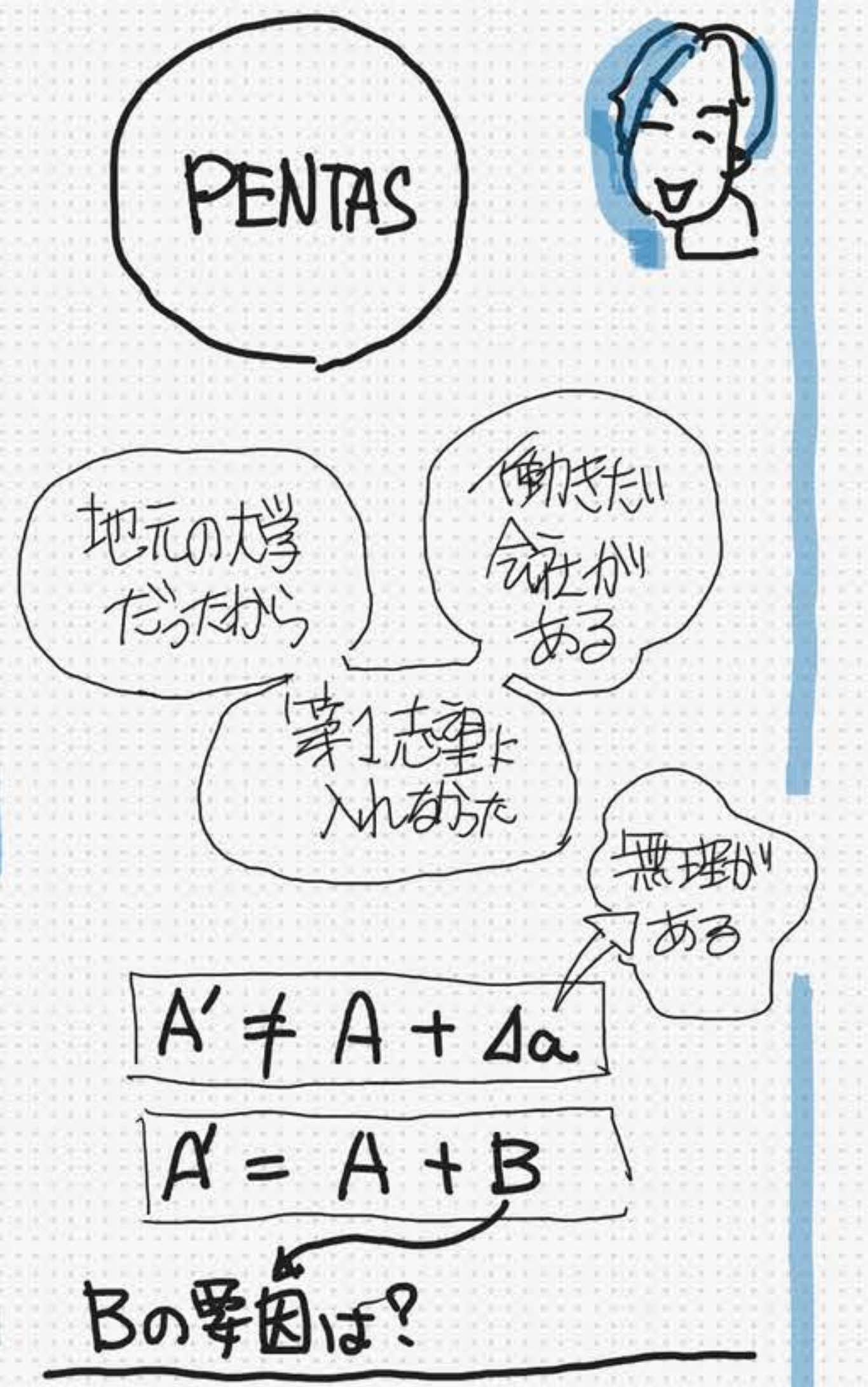
経営者×カン



Q. 起業にかける どの程度?

A. 来年度から 本格化する

学生因子



$A' \neq A + \Delta a$

$A = A + B$

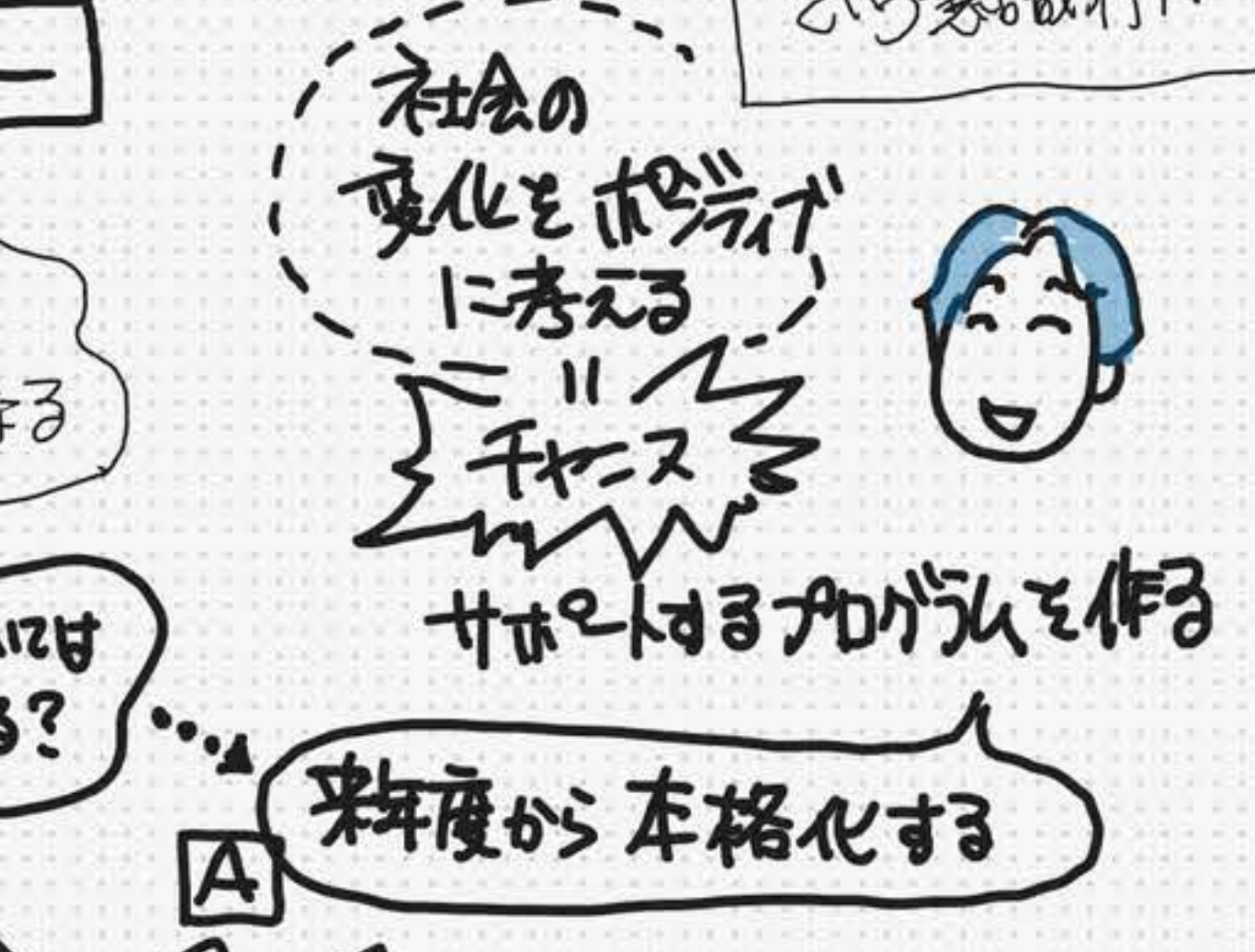
Bの要因は?

災害や疫病 が増える

大学の学びが 活ける

卒業後も 活かせる

自分らしい学びが 戻ってくる ことが意識付け



全国の大学で 活用される モデルを作る

今後の取組

フリーディスカッション



林靖人 氏が担当

インロルでマネジメント (EM)

巻き込む

課題・ホト 主体を認める

団会のあひさつ